

YASKAWA

会 社 案 内

Our Identity

安川電機は1915年の創業以来、「電動機（モータ）とその応用」を事業領域に定め、その製品・技術により時代の先端産業を支えてきました。

「技術立社」を社是として、事業の基盤である“メカトロニクス*”のコンセプトを世界に先駆けて提唱し、世界一・世界初の革新的な技術・製品の開発にこだわりながら、品質第一の経営を貫いてきました。

当社のコア技術は、「モーション制御」・「ロボット技術」・「パワー変換」。

メカの動きを精緻に制御する探究から生まれたこれらの技術と製品は、世界中のものづくりの品質と効率の向上に、日々貢献しています。

1915



合資会社安川電機
製作所設立

1915年

1958



DCサーボモータ
(ミナーシャモータ)を発明

1958年

1977



国内初全電気式産業用ロボット
[MOTOMAN-L10]を発表

1977年

1917年

三相誘導電動機を
製品化

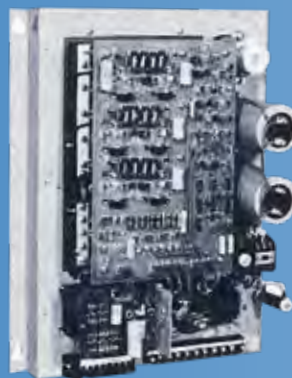
1974年

世界初の
汎用トランジスタインバータを製品化

1983年

ACサーボドライブ
シリーズを製品化

1917



1974



1983

—— 時代をこえて、
ものづくりへの情熱は
変わらない。

2005



新世代ロボット
(双腕ロボット・7軸ロボット)
を製品化

2005年

2013



バイオメディカル用途向け
ロボットを開発

2013年



人協働ロボットを開発
小型ロボットを開発

2017年

2021



様々なデータを高連かつリアルタイムそして
時系列に同時・統合的に制御する
YRM-Xコントローラ販売開始



業界最高のモーション性能を誇る
Σ-Xシリーズ販売開始

2021年

2011年

大型風力発電用発電機を
製品化



2011

2015年

世界初の
GaN 搭載アンプ内蔵サーボモータを開発
次世代インバータを製品化



2015

2020年

世界最小クラスの高性能インバータ
GA500販売開始



2020

* メカトロニクス…「Mechanism(メカニズム)」と「Electronics(エレクトロニクス)」を融合した概念。お客様の機械装置と当社の電機品を融合し、より高い機能を発揮できるようにとの考えから安川電機が1960年代後半に世界に先駆けて提唱した。

Our Principles

1979年、創業者・安川第五郎の「創立の動機」をもとに、
当社の企業理念を成文化した「社憲」を制定しました。



安川第五郎翁之像

安川第五郎翁之像

安川グループ経営理念



創業者 安川第五郎

経営理念は、私たちが事業を遂行する目的(存在意義)と、品質・利益・市場を核とする基本原則(価値観)ならびに日々の行動指針(社員の心得)の旗印となるもので、そこに込められた精神は時代が移り変わっても揺らぐことのない『私たちの原点』そのものです。

私たちは、この原点を安川グループが未来に向けて持続的に成長していく心の拠り所として、そして判断の軸として日々の実践に務め、経営理念の実現を目指します。

Our Purpose

私たちの存在意義

当社グループの使命は、その事業の遂行を通じて広く社会の発展、人類の福祉に貢献することにある

Our Values

私たちの価値観

当社グループはこの使命達成のために、つぎの3項目を掲げ、その実現に努力する。

- 1.品質** 品質重視の考えに立ち、常に世界に誇る技術を開発、向上させること。
- 2.利益** 経営効率の向上に努め、企業の存続と発展に必要な利益を確保すること。
- 3.市場** 市場志向の精神に従い、そのニーズにこたえたとともに需要家への奉仕に徹すること。

Our Actions

社員の心得

- 一、お客さま本位に徹しよう。
- 一、高品質と高採算をあわせて追求しよう。
- 一、研鑽を重ね、不屈の気概をもって競争に打ち勝とう。
- 一、視野を広め、発想を転換しよう。
- 一、互いに信頼を深め、一致協力に努めよう。

Our Vision

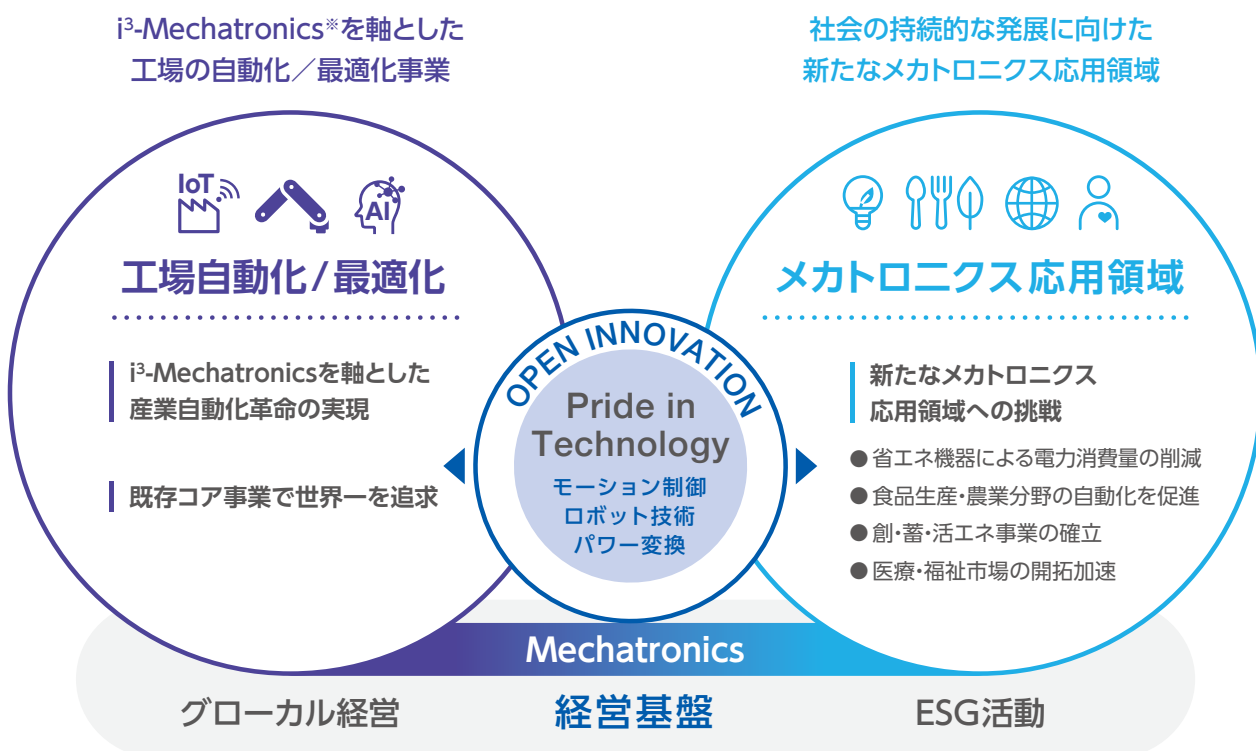
創立100周年にあたる2015年、

私たちを取り巻く環境の劇的な変化をチャンスとして捉え、

将来に向けた経営の方向性を示す「2025年ビジョン」を掲げました。

安川グループの「2025年ビジョン」

コア事業の進化により、お客さまの経営課題の解決に寄与するとともに、メカトロニクス技術を応用した新規分野の拡大により、社会に新たな付加価値を生み出していきます。



※ i³-Mechatronics (アイキューブメカトロニクス): 新たな産業自動化革命の実現に対する安川のソリューションコンセプト

安川グループの2025年ビジョン

コア事業の進化により、お客さまの経営課題の解決に寄与するとともに、メカトロニクス技術を応用した新規分野の拡大により、社会に新たな付加価値を生み出す

2015年ビジョン
(2006～2015)

2025年ビジョン
(2016～2025)

2035年ビジョン
(2026～2035)

Dash 25
(2016～2018)

高収益企業体質の確立

Challenge 25 Plus
(2019～2022)

新しい価値・市場の創造に挑戦
徹底した収益性改善

Realize 25
(2023～2025)

ビジョンの実現

中期経営計画の
資料はこちら▶▶



i³-Mechatronics

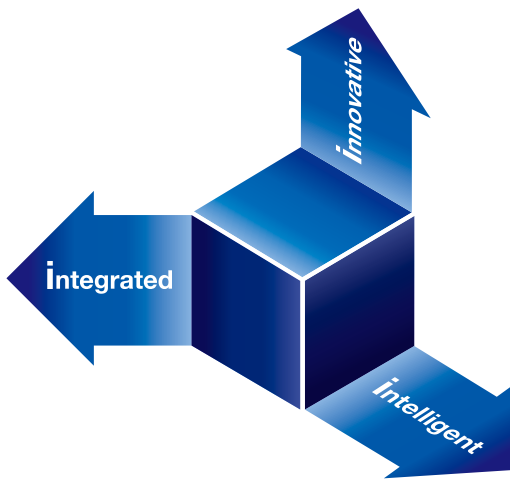
アイキューブ メカトロニクス

2017年にソリューションコンセプト
[i³-Mechatronics]を始動させました。



Solution Concept *i*³-Mechatronics

「i³ (アイキューブ)」の3つの「i」、integrated (統合的)、intelligent (知能的)、innovative (革新的) はお客様の経営課題の解決に寄与するとともに、社内のビジネスモデルを変革するコンセプトでもあります。



i³-Mechatronicsを実現する3つのステップ

ステップ 1 integrated (統合的)

- モータがセンサーとなって生産現場はデータでつながる (見える化)
- コンポーネント (ロボット・ACサーボモータ・インバータなど) と工程を繋ぎながら生産現場の自動化を進める
- FAとITを繋ぐ

ステップ 2 intelligent (知能的)

- データ活用による分析と学習 (ビッグデータ解析・AI)

ステップ 3 innovative (革新的)

- データをもとにフィードバックを行い、生産現場の動きに変えることで生産性を向上

i³-Mechatronicsによって実現されたスマート工場



*1:リアルタイム性が求められるデータ解析とフィードバックを行うための情報処理の領域 (工場や生産拠点内など、生産現場に近いエリア)

*2:生産現場の設備や装置のデータをリアルタイムで収集・蓄積・分析することができるソフトウェア

Driving Society

モータを回し続けて100年。

培ってきた技術で産業・社会の発展に貢献します。

Motion Control

世界トップクラスのACサーボモータとインバータ

モーションコントロール事業は、大きくACサーボモータとインバータの2つの製品群で構成されています。ACサーボモータは、高速・高精度に位置を制御することを得意としており、その特性から、高速・高性能な様々な設備や自動機械に適用されています。インバータは、モータの電源周波数を自在に変えることでモータの回転数を制御する装置です。インバータの登場は、工場の生産性を飛躍的にアップさせ、産業・社会の発展・省エネに貢献しています。当社は、モータ制御のリーディングカンパニーとしてACサーボモータは世界シェアNo.1を保ち続けており、確かな実績でお客さまからの信頼をいただいています。

ACサーボモータの主な用途

- 半導体・液晶製造装置
- 電子部品実装機
- 工作機械
- 食品・包装機械
- 繊維機械
- ロボット



ACサーボドライブ Σ-Xシリーズ

インバータの主な用途

- 空調機器
- エレベータ・エスカレータ
- ファン・ポンプ
- クレーン
- コンベヤ



PM モータ



安川インバータシリーズ
GA700



マトリクスコンバータ
U1000

インバータ技術を再生可能エネルギー活用に応用

地球温暖化防止のため、太陽光や風力など再生可能エネルギーの活用は、ますますそのニーズが高まっています。当社はインバータ技術の応用により、太陽光発電用のパワーコンディショナや自動車などの電気駆動システムを製品化し、創エネ・活エネ・蓄エネに向けた取組みを行っています。

Smart Factory

人とロボットが共存・協働する

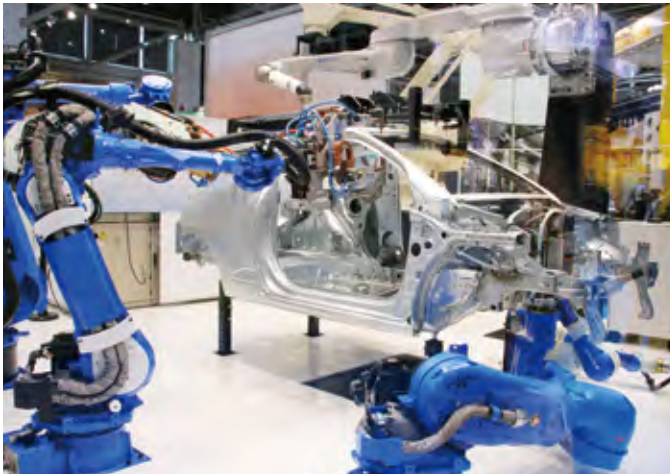
理想の自動化を実現します。



Robotics

グローバルに活躍の場を広げる産業用ロボット“MOTOMAN(モートマン)”

当社は、1977年に日本で初めて全電気式産業用ロボット“モートマン”を発売して以来、世界の産業用ロボット市場をリードしてきました。現在の主力でもある自動車生産向けのアーク溶接用途から始まり、スポット溶接やハンドリング、組立、塗装、それにクリーンルーム内における液晶・有機ELディスプレイや半導体製造分野でのハンドリング・搬送など、あらゆる産業分野で活躍しています。近年は、少子高齢化による労働力不足へのソリューションとして、これまで実績の少なかった食品分野など、ロボット適用領域の拡大が進んでいます。



スポット溶接



パレタイジング

「人の代わりに作業するロボット」から「人と共に作業するロボット」へ

ロボットはさらなる高速化や高精度化、複雑な動作への対応や人との共存に向けた安全機能の強化によって、産業用にとどまらず様々な分野に活躍の場を広げています。

2017年に安全柵なしで人と協働して作業することができるロボットを開発しました。家電製品やコンピュータ、通信機器など、今までロボットがあまり導入されていなかった分野においても自動化に貢献します。



人協働ロボット
MOTOMAN-HC20DTP

注) MOTOMAN-HCシリーズは安全機能により安全柵なしのシステム構築が可能ですが、全てのケースにおいてリスクアセスメントを実施する必要があります。

Secure Lifeline

YASKAWAのシステムエンジニアリング技術が、
私たちの暮らしを24時間支えています。

水処理プラントなどの公共用設備の安定稼働を見守っています。

当社は水処理プラント設備や交通インフラ設備など、安定稼働が必須の公共用電気設備を手がけています。一時たりとも止めることのできない上下水道設備には、確かな信頼性だけでなく、環境問題や災害対策などの社会的ニーズを満たすソリューションを提供。省エネ、高度浄水処理、施設の有効活用など多様なニーズに応えるため、最先端のシステムエンジニアリング技術を駆使した新しいシステムを提案・構築します。



下水監視室

高度なシステムエンジニアリング技術で最適な制御システムを提供します。

当社は長年にわたり、鉄鋼プラント設備などの産業用システム電機品の開発・設計・生産に携わり、豊富な経験を積み重ねてきました。国内で稼働中の全ての高炉に当社の制御装置、ドライブ装置が採用され、また、世界の大型高炉*システムにおいてもトップシェアを誇り、24時間の安定操業を支えています。当社は、高度なシステムエンジニアリング技術と高品質な製品で、信頼性の高い産業システムを提供し、快適な暮らしと豊かな町づくりに貢献しています。

* 容積5,000m³以上



高炉設備

大型風力発電用電機品と太陽光発電用向け製品で、再生可能エネルギーの有効活用にご貢献します。

世界的に地球温暖化対策として再生可能エネルギーの活用が進んでいます。当社は、大型風力発電用発電機およびコンバータを製品化。さらには、低圧から高圧までの大容量ドライブソリューションをラインアップし、お客様の多様なニーズに応じていきます。また、太陽光発電用パワーコンディションにより、太陽光発電のトータルコスト低減により再生可能エネルギーの主力電源化にご貢献しています。



大型風力発電用 発電・コンバータ



太陽光発電用 パワーコンディショナ

Passion for Innovation

世界を変える高付加価値の技術革新に
挑戦し続けています。

安川テクノロジーセンター (YTC)

Research & Development

当社は、経営理念にある「品質重視の考えに立ち、常に世界に誇る技術を開発、向上させること」をモットーに、ものづくりを進化させる技術を生み出し続けてきました。

2021年、お客さまからの要求にスピーディーに対応できる研究開発体制の構築を目的に、基礎技術開発、製品設計、評価・分析、生産技術から量産試作までを一貫して、研究開発拠点「安川テクノロジーセンタ(YTC)」に集約しました。YTCを中核に、革新的かつ効率的な開発環境を実現するとともに、外部との技術連携によるオープンイノベーションを図り、世界一・世界初にこだわった製品開発に邁進しています。

YTC Concept

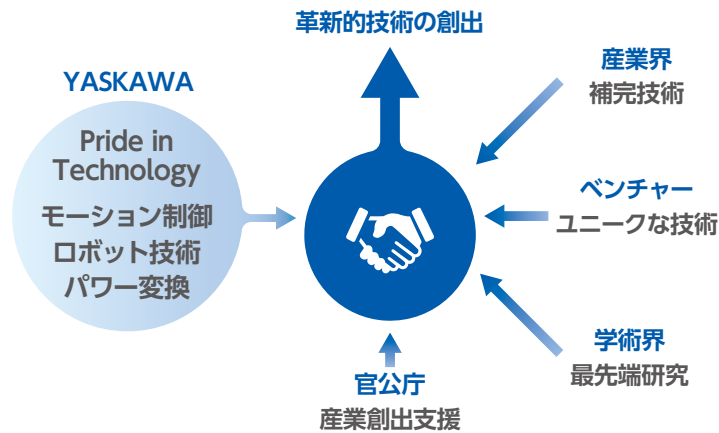
安川グループ全体とオープンイノベーションにより、
お客さまが勝てる製品をタイムリーに開発できる技術集約拠点



安川グループ全体の技術を集約し、基礎技術から量産試作まで、生産技術を含めて一体開発する

市場情報も含めて、他社、自社技術の強み弱みをタイムリーに的確に共有し、勝てる製品を創造する

オープンイノベーションの推進により飛躍的な技術革新を興す



当社が目指すオープンイノベーション



Action for Society

安川グループは、持続可能な経済・社会の発展に寄与し、
持続可能な企業価値向上を図ります。



Sustainability

安川グループは、お客さまやお取引先、当社が事業活動を展開する国や地域、株主や投資家の皆さま、そして従業員等あらゆるステークホルダーの信頼に応えます。また、「事業の遂行を通じて、広く社会の発展、人類の福祉に貢献する」とした経営理念の実践により、持続可能な経済・社会の発展に寄与し、持続可能な企業価値向上を図ります。

サステナビリティ方針

私たちは、安川グループの経営理念である「事業の遂行を通じて広く社会の発展、人類の福祉に貢献すること」を基本的な考え方として、その実践を通じて持続可能な社会の実現と企業価値の向上に努めます。

- 1.最先端のメカトロニクス技術によるイノベーション創出で、お客さまをはじめ社会への価値創造に貢献します。
- 2.世界中のステークホルダーとの対話と連携を通じ、公正かつ透明性の高い信頼ある経営を実現します。
- 3.世界共通の目標であるSDGsの達成を目指し、グローバルでの社会的課題の解決に取り組みます。

サステナビリティ課題・目標

サステナビリティ方針に基づき、持続的に成長するための重要課題として、「事業を通じた社会価値の創造と社会課題の解決」と「サステナブルな事業／社会に寄与する経営基盤の強化」の2つを軸としたサステナビリティ課題・目標（マテリアリティ）を特定しました。また、これらマテリアリティに関する取り組みについて、社長を委員長とするサステナビリティ委員会において進捗を管理してまいります。

事業を通じた社会価値の創造と社会的課題の解決

① "1³-Mechatronics"を通じた産業自動化革命の実現



② クリーンな社会インフラ構築と安全・快適な暮らしの基盤づくり



③ オープンイノベーションを通じた新たな技術・事業領域の開拓



サステナブルな事業／社会に寄与する経営基盤の強化

④ サステナブルな生産性の高いものづくり



- 最先端ものづくりの導入
- 製品の安全・品質向上
- グリーンプロセスを通じた温室効果ガスの排出削減
- サステナブルなサプライチェーンの構築

⑤ 働きがいのある職場づくりと人材育成



- ダイバーシティとインクルージョン
- 労働安全性
- 地域社会貢献
- 人材育成
- 人権と労働慣行

⑥ 公正かつ透明性の高いガバナンス体制



- コーポレートガバナンス・コードを活用した"攻め"のガバナンス体制の強化
- コンプライアンス強化
- 情報セキュリティの強化

| Company's Outline



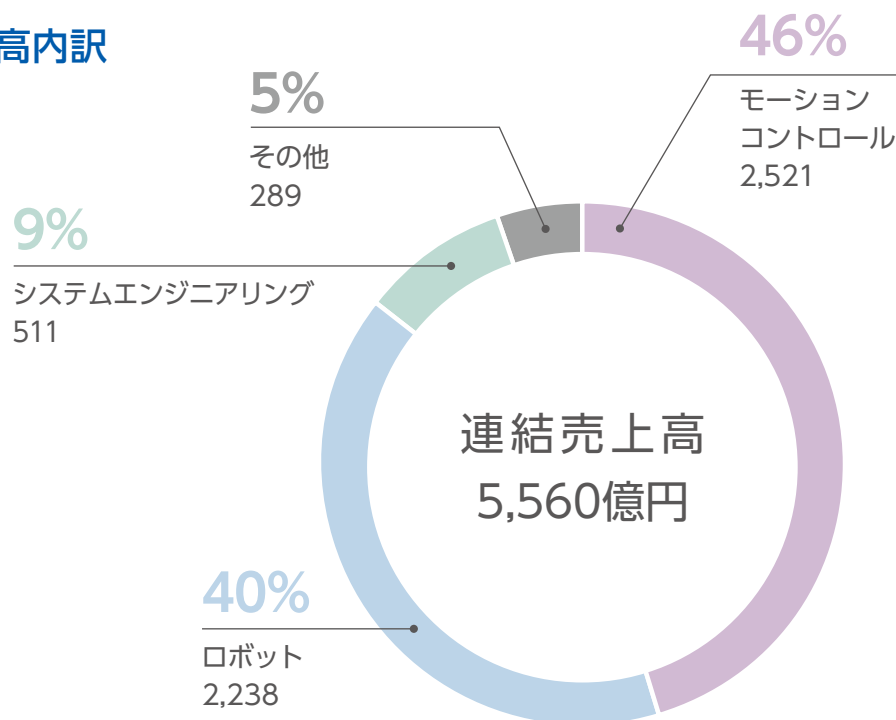
ロボット村

会社概要 (2023年3月1日現在)

会社名	株式会社 安川電機 YASKAWA Electric Corporation	代表者	代表取締役社長 小川 昌寛
創立	1915年(大正4年)7月16日	資本金	306億円
本社所在地	〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号 TEL. 093-645-8801 FAX. 093-645-8831	発行済株式総数	266,690千株
		株主数	41,345名
		従業員数	連結 13,094名
		売上高	連結 5,560億円 (2023年2月期)

事業別売上高内訳

(2023年2月期)



役員 (2023年7月1日現在)

代表取締役会長 小笠原 浩	取締役 監査等委員 中山 裕二	上席執行役員 Michael Stephen Knapek	執行役員 大倉 正彦
代表取締役社長 小川 昌寛	取締役 監査等委員 生山 武史	上席執行役員 中野 純一	執行役員 大塚 丈徳
代表取締役専務執行役員 村上 周二	社外取締役 監査等委員 ^(*) ⁽²⁾ 小池 利和	上席執行役員 陣内 信朗	執行役員 樋口 充章
取締役 上席執行役員 森川 泰彦	社外取締役 監査等委員 ^(*) ⁽²⁾ 松橋 香里	上席執行役員 上山 顕治	執行役員 水谷 春林
	社外取締役 監査等委員 ^(*) ⁽²⁾ 西尾 啓治	上席執行役員 Bruno Schnekenburger	執行役員 一木 靖司
	社外取締役 監査等委員 ^(*) ⁽²⁾ 穂高 弥生子	上席執行役員 山田 達哉	執行役員 椎名 アルバート
		上席執行役員 高田 浩志	執行役員 下池 正一郎
		上席執行役員 林田 歩	執行役員 足立 恭雄
		上席執行役員 岡久 学	

(*)会社法第2条第15号に定める社外取締役 (2)東京証券取引所の定めに基づく独立役員

Global Network

世界に広がるYASKAWA。

YASKAWAのビジネス拠点は世界約30カ国、生産拠点は13カ国に広がっています。(日本含む)

ヨーロッパ



YASKAWA EUROPE GmbH

Germany

- YASKAWA EUROPE GmbH

Sweden

- YASKAWA NORDIC AB

U.K.

- YASKAWA ELECTRIC UK LTD.
- YASKAWA UK LTD.

Italy

- YASKAWA ITALIA S.R.L.

France

- YASKAWA FRANCE SAS

Spain

- YASKAWA IBERICA S.L.

Finland

- YASKAWA FINLAND OY
- THE SWITCH ENGINEERING OY

Norway

- THE SWITCH MARINE DRIVE NORWAY AS

Netherlands

- YASKAWA BENELUX BV

Slovenia

- YASKAWA EUROPE ROBOTICS D.O.O
- YASKAWA SLOVENIJA D.O.O.
- YASKAWA RISTRO D.O.O.

Czech Republic

- YASKAWA CZECH S.R.O

Poland

- YASKAWA POLSKA SP. ZO. O.

北アメリカ



YASKAWA AMERICA, Inc.

U.S.A.

- YASKAWA AMERICA, INC.
- SOLECTRIA RENEWABLES, LLC

Canada

- YASKAWA CANADA INC.

Mexico

- YASKAWA MEXICO S.A. DE C.V.

中東・アフリカ

Israel

- YASKAWA EUROPE TECHNOLOGY LTD.

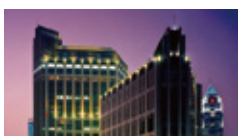
Turkey

- YASKAWA TURKEY ELEKTRIK TICARET LTD. STI.

South Africa

- YASKAWA SOUTHERN AFRICA (PTY) LTD.

アジア・パシフィック



YASKAWA ELECTRIC (CHINA) CO., LTD.

China

- YASKAWA ELECTRIC (CHINA) CO., LTD.
- SHANGHAI YASKAWA DRIVE CO., LTD.
- YASKAWA TSUSHO(SHANGHAI) CO., LTD.
- YASKAWA ELECTRIC (SHENYANG) CO., LTD.
- YASKAWA SHOUGANG ROBOT CO., LTD.
- YASKAWA (CHINA) ROBOTICS CO., LTD.

Korea

- YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION

Taiwan

- YASKAWA ELECTRIC TAIWAN CORPORATION

Singapore

- YASKAWA ASIA PACIFIC PTE. LTD.

Thailand

- YASKAWA ELECTRIC (THAILAND) CO., LTD.

Indonesia

- PT. YASKAWA ELECTRIC INDONESIA

Vietnam

- YASKAWA ELECTRIC VIETNAM CO., LTD.

Malaysia

- YASKAWA MALAYSIA SDN . BHD.

India

- YASKAWA INDIA PRIVATE LIMITED

南アメリカ

Brazil

- YASKAWA ELETRICO DO BRASIL LTDA.
- MOTOMAN ROBOTICA DO BRASIL, LTDA.

Network in Japan

技術と信頼で応えるグループカ。

国内に2つの開発研究拠点、5つの生産拠点を設けて
フレキシブルにお客様ニーズにお応えしています。



国内グループ会社

- 安川オートメーション・ドライブ株式会社
- 株式会社安川メカトレック
- 末松九機株式会社
- 株式会社FAMS
- 株式会社エイアイキューブ
- ロボティック・パイオロジー・インスティテュート株式会社
- 株式会社ベスタクト・ソリューションズ
- 株式会社アイキューブデジタル
- 安川コントロール株式会社
- 株式会社安川ロジステック
- 安川マニファクチャリング株式会社
- 株式会社ドーエイ
- 安川オビアス株式会社

株式会社 安川電機

YASKAWA ELECTRIC CORPORATION

<https://www.yaskawa.co.jp/>

© 2023 YASKAWA Electric Corporation

